



平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算短信（非連結）

平成 27 年 2 月 20 日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 3145

本社所在都道府県 新潟県

本社所在地 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号

問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 津野 芳彰

T E L (025)250-7335

1. 平成 27 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

（注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	千円 %	千円 %	千円 %
27 年第 3 四半期	37,445 (134.9)	△27,443 (-)	△29,179 (-)
26 年第 3 四半期	27,753 (140.9)	△34,129 (-)	△35,987 (-)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
27 年第 3 四半期	△29,179 (-)	△378 54	- -	-	△39.9	△77.9
26 年第 3 四半期	△35,987 (-)	△480 56	- -	480.8	△35.0	△130.0

（注）1. 期中平均株式数 27 年第 3 四半期 77,085 株 26 年第 3 四半期 74,885 株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)

3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
27 年第 3 四半期	82,671	△26,980	△32.6	△350 02
26 年第 3 四半期	83,613	△21,736	△26.0	△290 26

（注）期末発行済株式数 27 年第 3 半期 77,085 株 26 年第 3 四半期 74,885 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
27年第3四半期	△12,527	△1,223	10,000	5,813
26年第3四半期	△12,404	△119	18,000	6,260

2. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	57,210	△53,359	△53,359	—	0	—	0	0

（参考）1株当たり予想当期純損失（通期）692円 21銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

平成 27 年 2 月 20 日

第 12 期 第 3 四半期報告書

(平成 26 年 10 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日まで)

会社名（定款上の商号）	マイコロジーテクノ株式会社
英 文 名	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コ ー ド 番 号	3145
代 表 者 の 役 職 氏 名	代表取締役 津野 芳彰
本 店 の 所 在 の 場 所	新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電 話 番 号	025-250-7335
連 絡 者	代表取締役社長 津野 芳彰

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

期 別	第 12 期 第 1 四半期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	第 12 期 第 2 四半期 自平成 26 年 7 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日	第 12 期 第 3 四半期 自平成 26 年 10 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	4,219	17,081	16,145	37,445	27,753
II 売上原価	△642	6,324	7,343	13,026	12,090
売上総利益	4,861	10,756	8,801	24,419	15,662
III 販売費及び一般管理費	19,983	16,197	15,681	51,863	49,792
営業損失	15,122	5,441	6,880	27,443	34,129
IV 営業外収益	185	278	370	833	858
V 営業外費用	653	911	1,005	2,570	2,716
経常損失	15,590	6,073	7,515	29,179	35,987
税引前四半期(当期)純損失	15,590	6,073	7,515	29,179	35,987
法人税、住民税及び事業税	—	—	—	—	—
四半期(当期)純損失	15,590	6,073	7,515	29,179	35,987

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	第 12 期 第 1 四半期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	第 12 期 第 2 四半期 自平成 26 年 7 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日	第 12 期 第 3 四半期 自平成 26 年 10 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日
期中平均株式数	77,085 株	77,085 株	77,085 株	77,085 株	74,885 株
1 株当たり四半期（当期） 純損失	202 円 25 銭	78 円 79 銭	97 円 50 銭	378 円 54 銭	480 円 56 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純利益	—	—	—	—	—

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 12 期 第 1 四半期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	第 12 期 第 2 四半期 自平成 26 年 7 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日	第 12 期 第 3 四半期 自平成 26 年 10 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 9 月 30 日
マイコロジー事業	—	—	—	—	—
健康食品販売事業	4,219	17,081	16,145	37,445	27,753
合 計	4,219	17,081	16,145	37,445	27,753

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第11期末	第12期第1四半期	第12期第2四半期	第12期第3四半期
		平成26年3月31日現在	平成 26 年 6 月 30 日現在	平成 26 年 9 月 30 日現在	平成 26 年 12 月 31 日現在
		金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金預金		5,668	4,196	9,564	5,813
2. 売掛金		21,890	11,190	12,331	19,968
3. 製 品		8,100	8,005	4,730	6,310
4. 半製品		4,179	7,197	7,086	5,551
5. 原材料		4,024	4,680	4,337	4,509
6. 仕掛品		19,664	29,549	32,553	34,566
7. 前払費用		652	652	652	652
8. 未収入金		170	70	29	227
9. その他		△3,667	△2,499	△828	1,103
流動資産合計		60,684	63,043	70,454	78,702
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
建物附属設備		-	-	-	1,030
工具器具備品		79	67	55	43
有形固定資産合計		79	67	55	1,074
2. 投資その他の資産					
敷 金		2,849	2,849	2,849	2,849
長期前払費用		112	89	67	44
投資その他の資産合計		2,961	2,939	2,916	2,894
固定資産合計		3,040	3,006	2,972	3,968
資産合計		63,725	66,049	73,426	82,671

(単位：千円)

期 別 科 目	第11期末 平成26年3月31日現在	第12期第1四半期 平成 26 年 6 月 30 日現在	第12期第2四半期 平成 26 年 9 月 30 日現在	第12期第3四半期 平成 26 年 12 月 31 日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	8,589	1,300	2,618	5,917
2. 短期借入金	49,000	73,000	86,000	96,000
3. 未払金	2,164	3,570	2,023	2,830
4. 未払費用	-	653	-	1,005
5. 未払法人税等	1,398	-	-	-
6. 預り金	374	916	2,250	3,898
流動負債計	61,526	79,440	92,891	109,652
負債合計	61,526	79,440	92,891	109,652
(純資産の部)				
II 株主資本				
1. 資本金	410,124	410,124	410,124	410,124
2. 資本剰余金				
資本準備金	358,124	358,124	358,124	358,124
資本剰余金合計	358,124	358,124	358,124	358,124
3. 利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△766,049	△781,639	△787,713	△795,228
利益剰余金合計	△766,049	△781,639	△787,713	△795,228
株主資本合計	2,198	△13,391	△19,465	△26,980
純資産合計	2,198	△13,391	△19,465	△26,980
負債・純資産合計	63,725	66,049	73,426	82,671

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 項 目	第11期末 平成26年3月31日現在	第12期第1四半期 平成 26 年 6 月 30 日現在	第12期第2四半期 平成 26 年 9 月 30 日現在	第12期第3四半期 平成 26 年 12 月 31 日現在
発 行 済 株 式 数	77,085 株	77,085 株	77,085 株	77,085 株
1 株 当 たり 純 資 産 額	28 円 52 銭	△173 円 72 銭	△252 円 51 銭	△350 円 02 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 12 月 31 日）

(単位：千円)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越 利益剰余金			
平成 26 年 4 月 1 日残高	410, 124	358, 124	358, 124	△766, 049	△766, 049	2, 198	2, 198
第 1 四半期中の変動額							
四半期純損失	－	－	－	△15, 590	△15, 590	△15, 590	△15, 590
第 1 四半期中の変動額合計	－	－	－	△15, 590	△15, 590	△15, 590	△15, 590
平成 26 年 6 月 30 日残高	410, 124	358, 124	358, 124	△781, 639	△781, 639	△13, 391	△13, 391
第 2 四半期中の変動額							
四半期純損失	－	－	－	△6, 073	△6, 073	△6, 073	△6, 073
第 2 四半期中の変動額合計	－	－	－	△6, 073	△6, 073	△6, 073	△6, 073
平成 26 年 9 月 30 日残高	410, 124	358, 124	358, 124	△787, 713	△787, 713	△19, 465	△19, 465
第 3 四半期中の変動額							
四半期純損失	－	－	－	△7, 515	△7, 515	△7, 515	△7, 515
第 3 四半期中の変動額合計	－	－	－	△7, 515	△7, 515	△7, 515	△7, 515
平成 26 年 12 月 31 日残高	410, 124	358, 124	358, 124	△795, 228	△795, 228	△26, 980	△26, 980

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5【経理の状況】 1【計算書類等】 (4)【個別注記表】 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、未収入金として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第12期第3四半期の業績の概況（平成26年10月1日から平成26年12月31日）

当第3四半期におけるわが国経済は、政府および日本銀行の継続的な経済政策や金融政策により収益改善がみられる企業が増加しました。しかし内閣府の7～9月GDP速報（平成26年12月8日）では、2四半期連続マイナス成長となるなど予断を許さない状況が続いています。

平成26年7月25日に行われた「越後白雪茸研究会」以降、越後白雪茸に大手企業からの引き合いが増えてきました。特にレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」のOEMの受注ならびに、成分を変化させた新企画の共同開発についての依頼がきています。

50mlドリンクの「アルビタ」が徐々に出荷数が増える中、このサイズの越後白雪茸製品の企画依頼もいただくようになってきました。

また越後白雪茸製品のOEM「バンックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

その他に、平成26年7月30日に消費者庁から「食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」報告がありました。効果効能に一定基準以上のエビデンスのある健康食品の表示について、表示規制が緩和される方針が出されました。これからの健食業界は、偽物が淘汰されて、エビデンスのある本物だけが残る時代が到来すると考えられます。

大手企業からの受注に耐える生産技術の向上に努め、今期は菌床の単位収穫量が2年前に比較して倍増しています。

茸自体の有用性につきましても、成分分析を行い個体差の無いように検証をしています。新潟薬科大学を中心に機能性の実験を行いながら、金沢大学と有効成分の物質を特定するために共同研究を行っています。

越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を講演会の開催、学会への参加等、広く行っていることにより、売上向上に努めています。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高 16,145 千円（前年同期比 94.6%増）、営業損失 6,880 千円（前年同期営業損失 10,647 千円）、経常損失 7,515 千円（前年同期経常損失 11,269 千円）、四半期純損失 7,515 千円（前年同期四半期純損失 11,269 千円）となりました。

III 第12期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目 \ 期 別	第 11 期（実績） 自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日	第 12 期（予測） 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日
売 上 高	48,261	57,210
営業利益又は損失（△）	△68,582	△51,199
経常利益又は損失（△）	△71,322	△53,359
当期純利益又は損失（△）	△71,892	△53,359

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 12 期 第 1 四半期 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日	第 12 期 第 2 四半期 自平成 26 年 7 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日	第 12 期 第 3 四半期 自平成 26 年 10 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日
現金及び預金の増減額	△1,472	5,368	△3,751
現金及び預金の四半期首残高	5,668	4,196	9,564
現金及び預金の四半期末残高	4,196	9,564	5,813

(主な増減理由)

当第3四半期における現金及び預金の減少の主な理由は、短期借入金の借入による増加額 10,000 千円、税引前四半期純損失による減少額 7,669 千円、売上債権による減少額 7,636 千円、たな卸資産による増加額 2,229 千円、仕入債務による増加額 3,299 千円、その他流動資産による減少額 2,145 千円、その他流動負債による減少額 3,626 千円、有形固定資産の取得による支出 1,078 千円等によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 12 期 第 1 四半期 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日	第 12 期 第 2 四半期 自平成 26 年 7 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日	第 12 期 第 3 四半期 自平成 26 年 10 月 1 日 至平成 26 年 12 月 31 日
短期借入金増減額	24,000	13,000	10,000
短期借入金の四半期首残高	49,000	73,000	86,000
短期借入金の四半期末残高	73,000	86,000	96,000

(主な増減理由)

当第3四半期における短期借入金の増加の主な理由は、健康食品事業にかかる株式会社国際総合ファイナンスからの借入による増加額 10,000 千円によるものであります。

V その他

該当事項はありません。

以上